

MK下地シート

石膏ボード、既存クロスリリフォーム向け
内装下地シート



〈特長〉

- ①シート+塗り壁でコスト・工期が圧縮できます
- ②竹を配合しているため通気性に優れ、さらに抗菌性脱臭性も有しております
- ③継ぎ目の無い一枚下地となり、ひび割れ防止の効果があります
- ④吸い込み違いによる色ムラが発生しにくくなります



創業安政元年
村権石灰工業株式会社

施工要領

下地の確認及び下地処理

- 下地の汚れやホコリなどは取り除いてください。
- 枠、廻り縁、巾木などへのコーティングは不要です。

新規下地処理

- 下地(石膏ボードもしくは木下地)が、ステンレスまたは亜鉛メッキの専用ビスで固定されていることを確認してください。

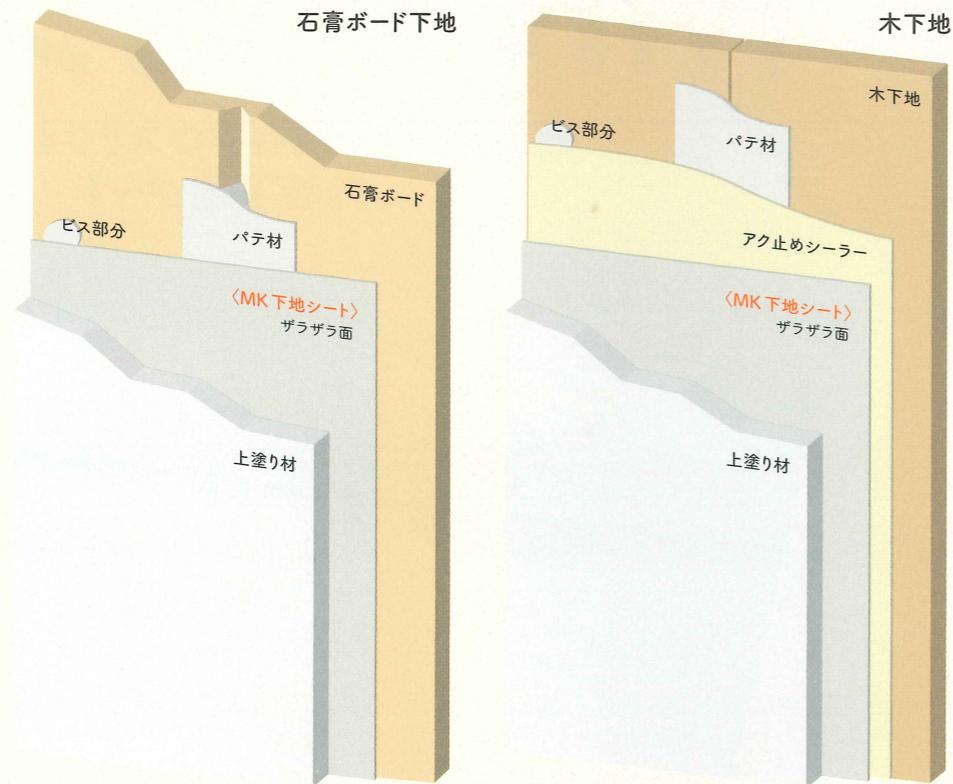
(ビス間隔は下地材周辺部10cmピッチ程度、受け木部15cmピッチ程度で留められていること ※「JASS15左官工事3.9」)

ビスの頭が浮いてる、もしくはボードの奥までめり込んでいる場合は、留め直してください。

[パテ処理 下塗]

下塗りパテ材(または上・下塗り兼用パテ材)を目地部、ビス穴、出隅の小口部などに塗り付けてください。

下塗り硬化後、サンドペーパー(#100)で平滑にしてください。



[パテ処理 上塗]

上塗りパテ材を塗り付け、硬化後にサンドペーパー(#100)で平滑にしてください。研磨後、表面に付着した粉は刷毛などで完全に取り除いてください。

○入隅に小さな隙間がある場合は必ずボンドコーカーを入れ、平滑にしてください。

○出隅に不陸がある場合は、ヤスリなどで平滑にする、もしくはコーナー補強材を取り付け、パテ処理を施してください。

○石膏ボード端部に割れがある場合は、カットして取り除き、パテ処理を施してください。

○木下地はアクが発生しやすいため、アク止めシーラーを必ず施してください。下地シートにはアク止め効果はありませんので、赤身の合板やコンパネなどの特にアクが発生しやすいものには施工しないでください。



- クロス表面を剥がし、残った薄紙の下地との付着状況を確認してください。ボードにしっかりと付いている薄紙は剥がす必要はありませんが、パテ材部の薄紙及び浮いている薄紙は必ず剥がしてください(水分を含んだ際に薄紙が浮いてしまいます)。

○下地に凹凸が残っている箇所は、パテ処理をして平滑に仕上げてください。

- 全面に必ずシーラーセットアップ(矢沢化学工業(株)製)または同等品を塗布してください。

ボードの破損状態の確認

- クロスを剥がした際、ボード紙が剥がれてしまった場合は、パテ処理を施してください。ボードに段差がある場合も同様としてください。

○不要となったスイッチなどの開口部は、穴埋めをしてください。

- ビスや釘が錆びている場合は、錆び止め剤を塗布するかステンレス製のビスに打ち替えてください。

○ボードの浮きや亀裂など、破損が著しい場合は、ボードを張り替えてください。



MK下地シートの貼り付け

- 糊は通常より多めにつけてください(極東産機(株)、ヤヨイ化学工業(株)製の糊付機をご使用の際は、糊厚の調整ツマミを2~3に合わせてご使用ください)。

○シートは全面ムラなく、縦貼りで貼り付けてください。

○必ず表(仕上げ面)をザラザラ面としてください。

○シートの圧着には、クロス専用のハケベラかスムーサーを使用し、空気が残らないようしっかりと貼り付けてください。

- シートのジョイント部は、目地用ローラーを使用し、しっかりと押させてください。
- 糊付け後のオープンタイムは、夏場5~10分、冬場10~15分程度とし、これ以上のオープンタイムを取らないでください。

平面部

シートのジョイント部は突き付け貼りもしくは重ね裁ちとしてください。重ね裁ちの際は必ず下敷きテープを使用してください。

シートのジョイント部は、下地ボードなどのジョイント部と5cm以上離し、パテ処理部分と重ならないようにしてください。



出隅

シートを回し貼りしてください。

入隅

2~3cm巾の下地シートをあらかじめ貼り、その上に両サイドから下地シートを突き付けで施工してください。



上塗り

- シートを貼り付けた後、糊が完全に乾燥したのを確認し、上塗り施工してください(夏季は24時間後、冬季は中1日置いてください)。

○上塗り材の施工要領書に準じて施工してください。

- 仕上げのテクスチャーはラフなどのパターン仕上げを推奨いたします。

推奨接着剤

原液で使用するタイプの接着剤をご使用ください。
ウォールボンド100・200(矢沢化学工業(株)製)
Newジャストノール(ヤヨイ化学工業(株)製)など

〈標準仕様〉

名称	MK下地シート
規格	100g/m ² 92cm × 50m (46m ² /本)
荷姿	3本/ケース

〈施工上の注意〉

○シート上に糊が付着した際は、水を多く含んだスポンジで擦らず、固く絞ったスポンジで軽く拭き取ってください。

○シート貼り付けの際、接着面に空気が残ると施工不良の原因となります。塗り付け前に、シートがしっかりと接着していることを確認してください。

○赤身の合板やコンパネなどは特にアクが発生しやすいため、ご使用は避けてください。また、リフォーム時の古い木下地もアクが発生しやすいので、十分なアク止めを施すか張り替えてください。



〈建材事業部〉

〒327-0509 栃木県佐野市宮下町1-10
tel 0283-86-3677 fax 0283-86-4118
kenzai@murakashi.co.jp http://www.murakashi.co.jp

〈特約代理店〉